

主要外皮用剤一覧

I群 Strongest



II群 Very Strong



II群 Very Strong



III群 Strong



IV群 Mild



配合剤



非ステロイド系抗炎症剤



免疫調整外用剤



※製品の写真は、2009年5月現在、市場に流通しているものを見本として掲載しました。
 ※ステロイド剤 (I~IV群)、配合剤は5gチューブ、非ステロイド系抗炎症剤は10gチューブを撮影しました。
 (ただし、リンデロン-DPおよびリンデロン-Vは10gチューブです)

※臨床効果の分類 (I群~IV群) は表紙の鳥雄らの分類 (軟膏剤を基準) を参考にしました。同一製品でも剤型により臨床効果は異なります。
 下記の*1、*2、*3、*4をご参照ください。
 *1: 軟膏とクリームの効果の差が不明のものです。 *2: クリームはIII群にランクされています。 *3: クリームはII群にランクされています。
 *4: 軟膏はIII群とIV群の中間に、クリームはIV群にランクされています。 軟膏、クリームとも無印のものは両方が同ランクです。